

# グラフで見る東海経済 (2019年10月)

2019年10月23日

調査部 主任研究員 塚田裕昭

## 今月の景気判断～東海経済は横ばい圏で推移している

項目	現状	前月
1. 景気全般	横ばい圏で推移している	—
2. 生産	横ばい圏で推移している	—
3. 輸出	横ばい圏で推移している	—
4. 輸入	横ばい圏で推移している	—
5. 設備投資	増加基調	—
6. 雇用	改善が一服している	—
7. 賃金	持ち直しの動きがみられる	—
8. 個人消費	持ち直しの動きがみられる	—
9. 住宅投資	横ばい圏で推移している	—
10. 公共投資	増加している	—

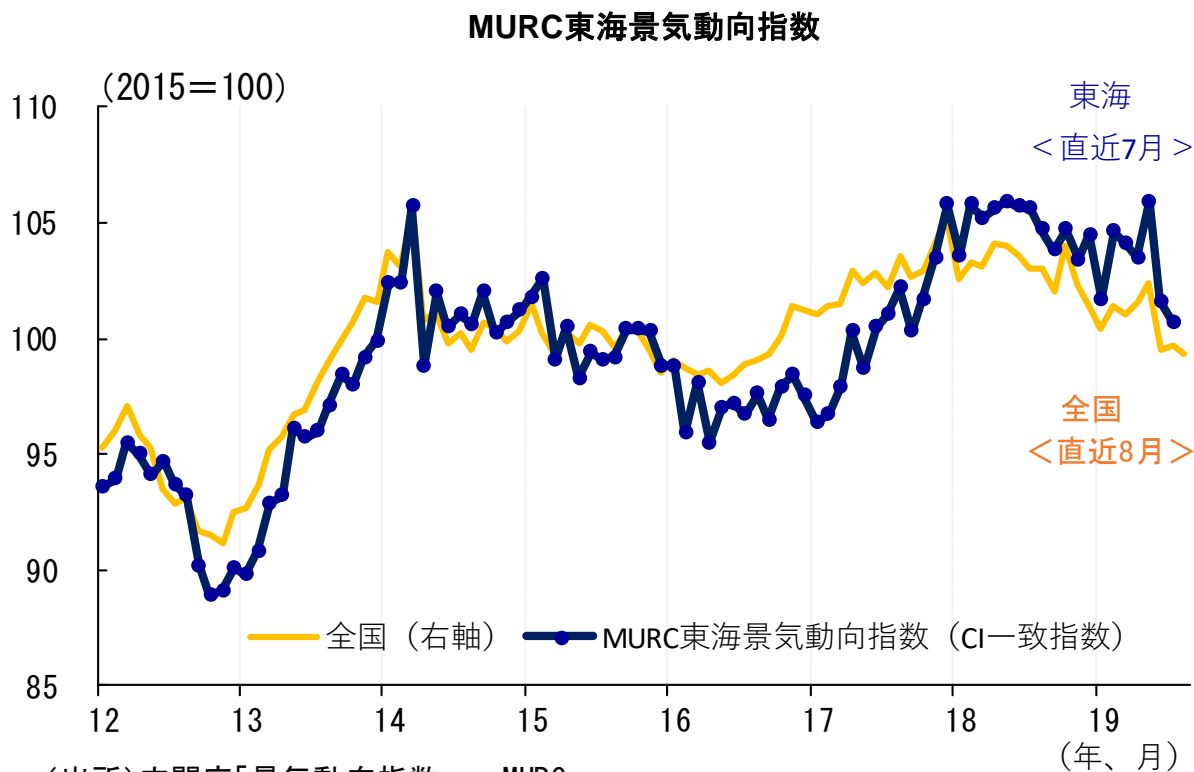
### 【今月のポイント】

- 8月の生産は2ヶ月連続で増加、均してみると横ばい圏で推移している。
- 金属工作機械受注は8月も減少。10ヶ月連続で前年比2桁減となっている。
- 企業部門は、生産、輸出など総じて横ばい圏での推移が続いている。
- 一方、家計部門は、賃金、個人消費などで、持ち直しの動きが見られる。消費税率引き上げ前の駆け込みも見られる。
- 東海経済全体では横ばい圏と判断される。

(注) シャドー部分は前月と比較して見方を変更した項目  
前月のコメントが現状と同じ場合は—と表記

## 1. 景気全般～横ばい圏で推移している(先行き:横ばい)

- 7月のMURC東海景気動向指数(CI一致指数)は、前月差-0.9ptの100.7となった。
- 鉱工業生産指数は小幅プラスとなったが、大型小売店販売、実質輸入、金属工作機械生産指数、有効求人倍率などがマイナスに寄与した。

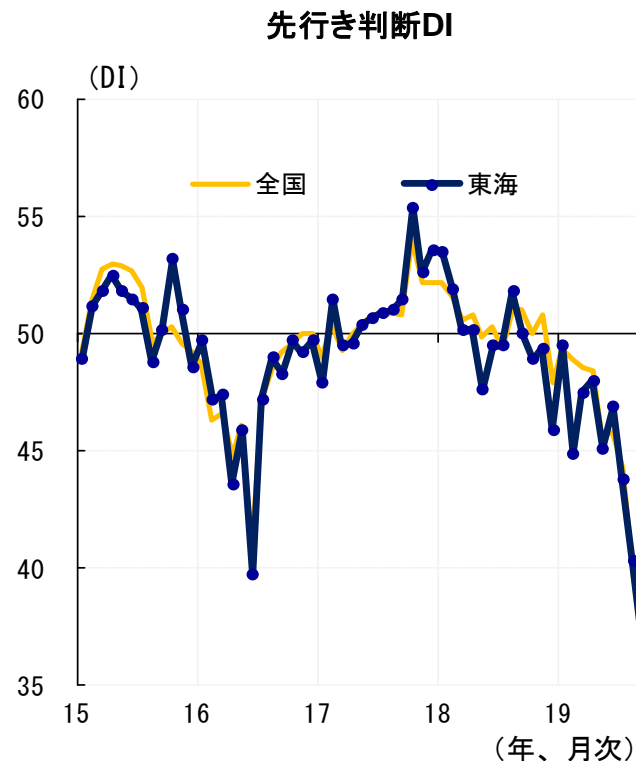
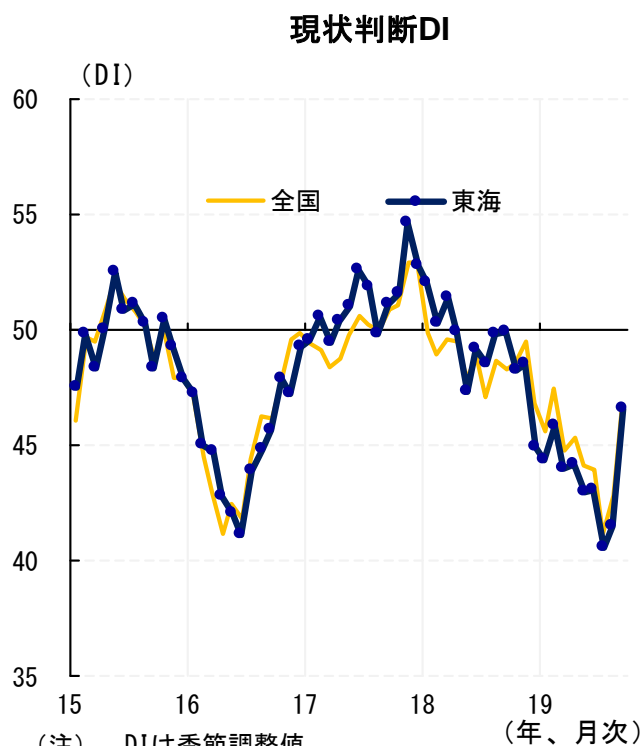


(出所) 内閣府「景気動向指数」、MURC

(注) 東海動向指数の採用系列は、鉱工業生産、同(金属工作機械)、有効求人倍率、人件費比率、大型小売店販売額、実質輸入、所定外労働時間の7系列。

# 1. 景気全般

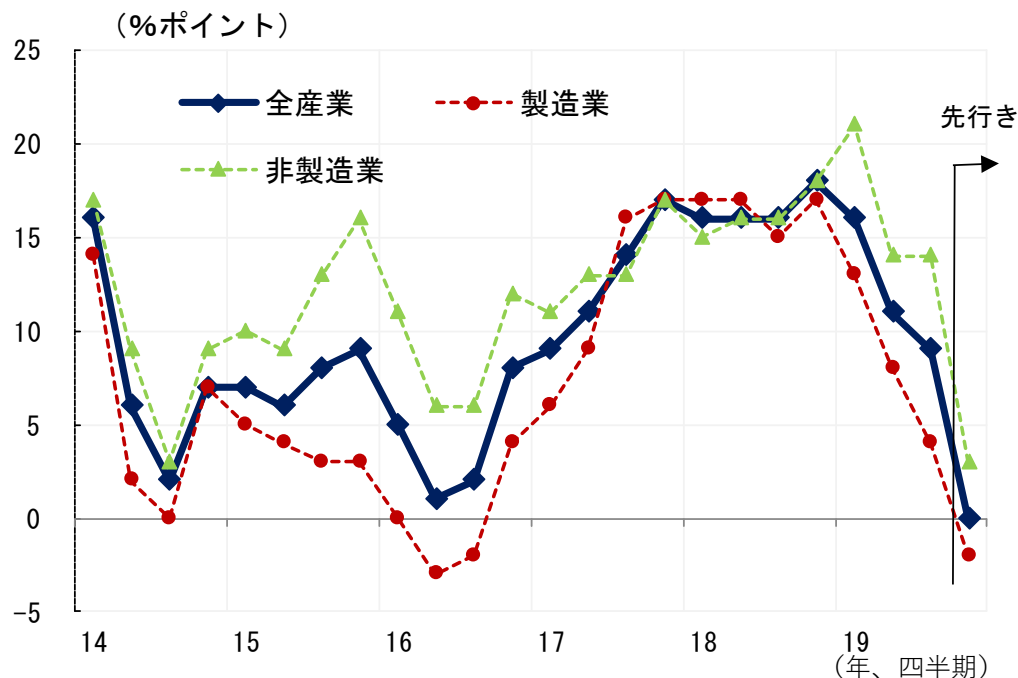
- 東海の景気マインドは弱い動きが見られる。9月の東海4県の**景気ウォッチャー調査**によると、現状判断DI(季節調整値)は消費税引き上げ前の駆け込みで、前月差+5.1ポイントの46.6と2ヶ月連続で上昇したが、依然低水準にある。
- **先行き判断DI**(同)は前月差-3.7ポイントの36.6へ一段と低下した。消費税引き上げによる景気の落ち込みや、海外情勢に対する懸念が一段と高まっている。



# 1. 景気全般～短観:業況判断

- 日銀短観9月調査の業況判断DI(東海3県)は全産業で+9と、6月調査から2ポイント低下した。
- 非製造業は+14と6月と同水準、一方、製造業は+4と6月から4ポイント低下した。
- 先行きについては、製造業、非製造業ともに悪化が見込まれている。

業況判断DI(東海・全規模)



(出所) 日本銀行名古屋支店「企業短期経済観測調査」(短観)

9月 業況判断DI(全規模)

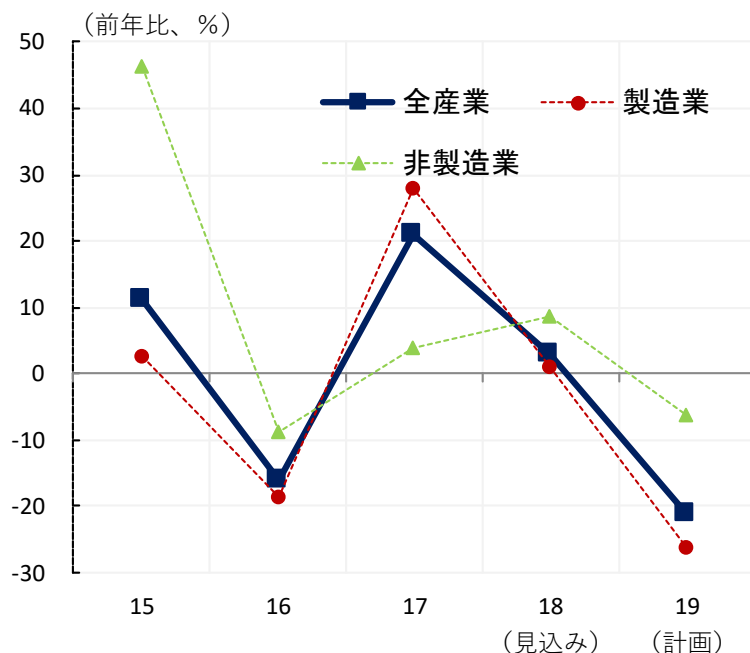
	東海	全国
全産業	9	8
	(-2)	(-2)
製造業	4	-1
	(-4)	(-4)
非製造業	14	14
	( 0)	( 0)

( )内は6月調査からの変化幅

# 1. 景気全般～短観:収益動向

- 日銀短観9月調査によると、19年度の経常利益は全産業で前年比-21.0%と大幅減が見込まれている。
- うち製造業は-26.2%、非製造業は-6.1%と、製造業の減益幅が大きい。

東海の企業の経常利益(日銀短観)



(注) 東海3県=愛知、岐阜、三重。 (年、四半期)  
 (出所) 日銀、同名古屋支店「企業短期経済観測調査」

9月調査 経常利益 実績・計画

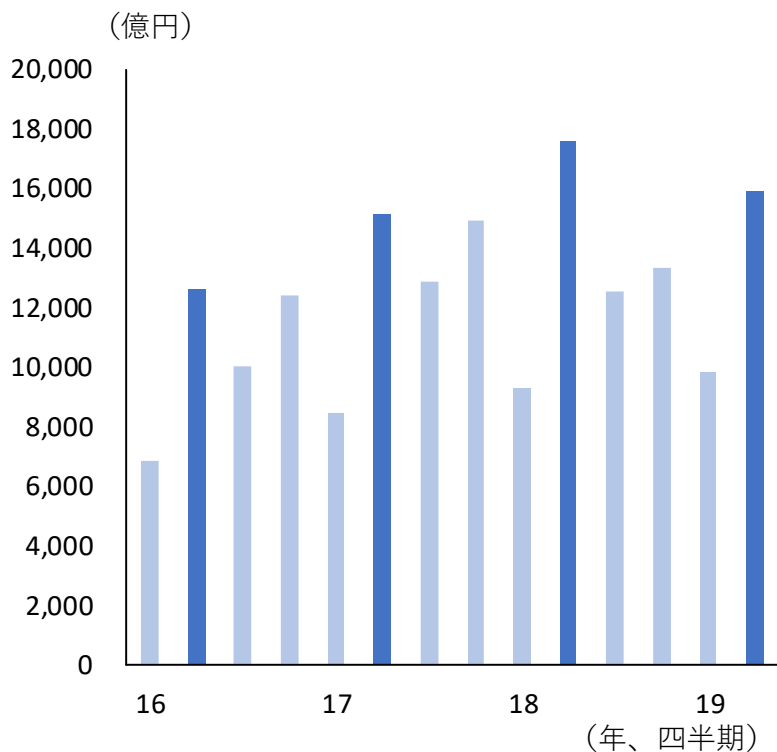
	東海		全国	
	18 実績	19 計画	18 実績	19 計画
全産業	3.0	-21	0.4	-6.7
製造業	1.1	-26.2	-0.3	-9.7
非製造業	8.7	-6.1	0.9	-4.5

# 1. 景気全般～法人企業統計: 経常利益

コメント、グラフ共に前回から変更なし

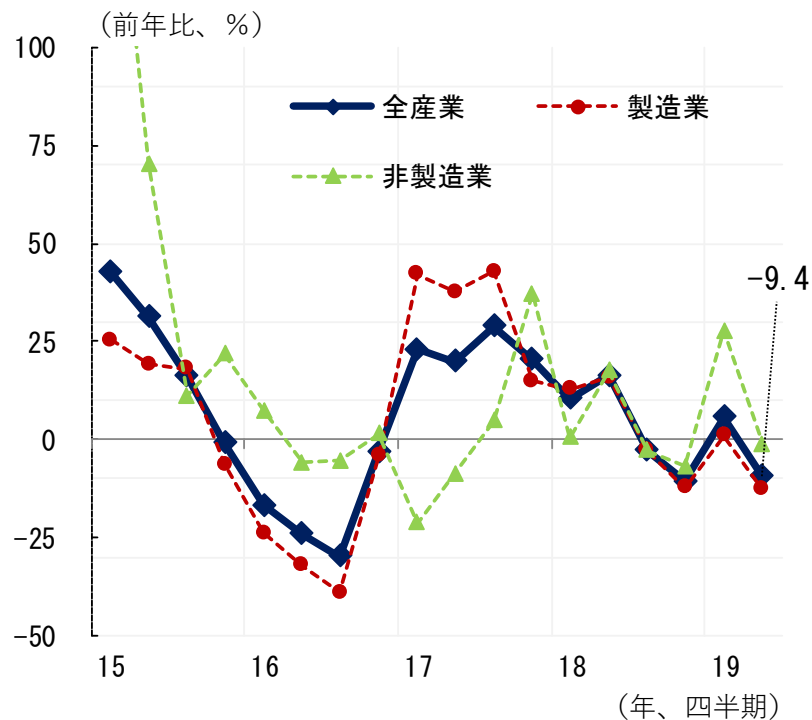
- **法人企業統計調査**によると、2019年4～6月期の東海4県の大企業の**経常利益(全産業)**は前年比-9.4%と2四半期ぶりに減益となった。非製造業(同-1.2%)、製造業(同-12.8%)共に減少した。

経常利益額(全産業)



(注) 資本金10億円以上の法人 (除く金融・保険)  
 (出所) 東海財務局「法人企業統計調査」

経常利益・前年比増減率

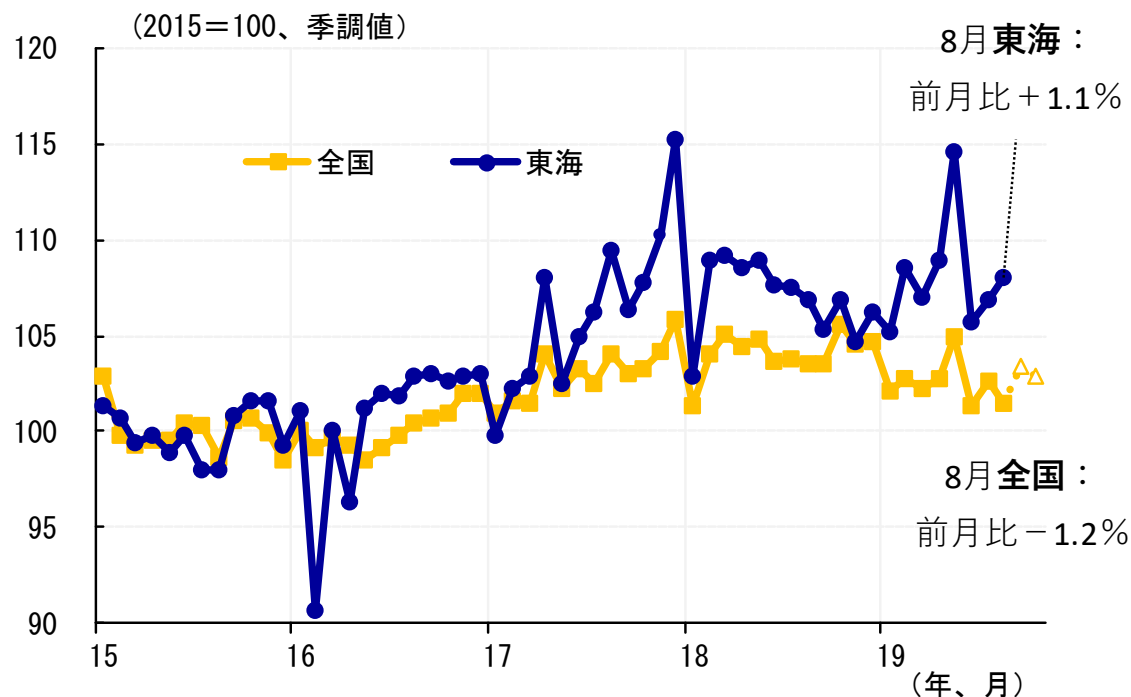


(注) 資本金10億円以上の法人 (除く金融・保険)  
 (出所) 東海財務局「法人企業統計調査」

## 2. 生産～横ばい圏で推移している（先行き:横ばい）

- 8月の東海3県の**鋳工業生産**は前月比+1.1%と2ヶ月連続で上昇。
- 改元による大型連休の影響で、5～6月は大きな振れが出たが、東海の実績は均せば横ばい圏で推移している。

鋳工業生産指数(季節調整値)



(注) 1. 生産(全国)の「△」は製造工業生産予測調査結果に基づく予測。

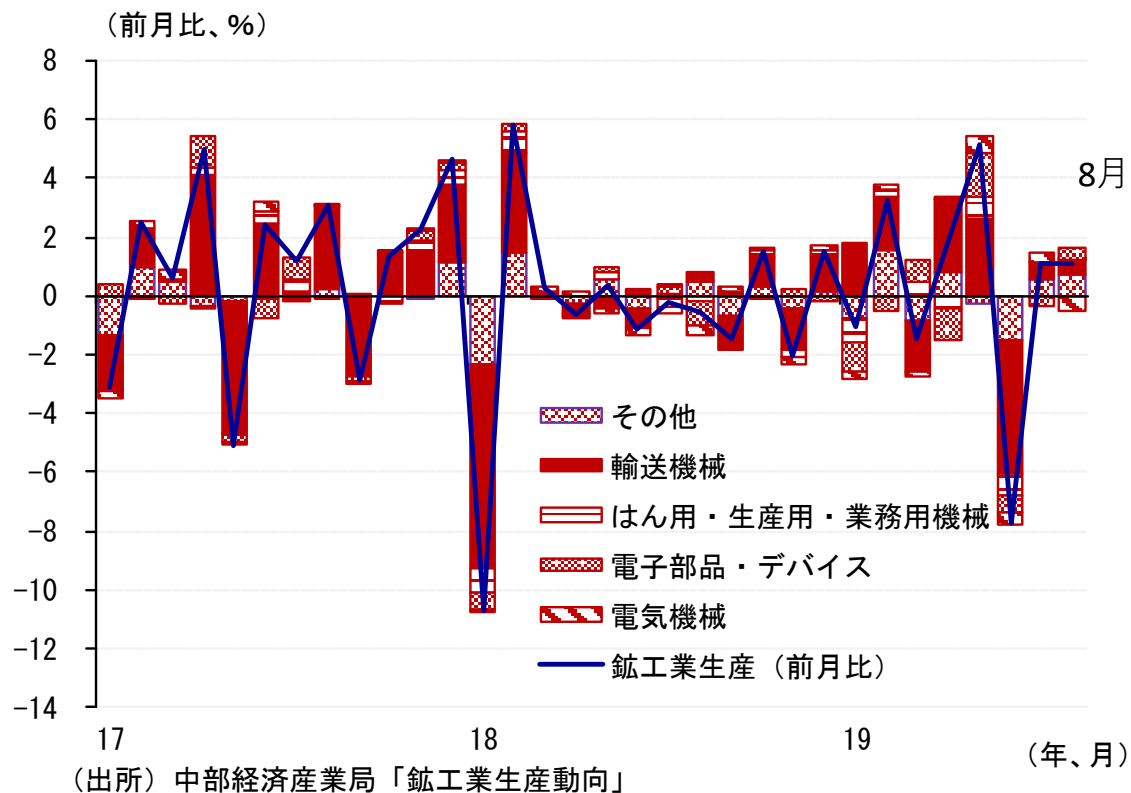
(出所) 中部経済産業局「鋳工業生産動向」、経済産業省「鋳工業指数」



## 2. 生産～業種別増減寄与

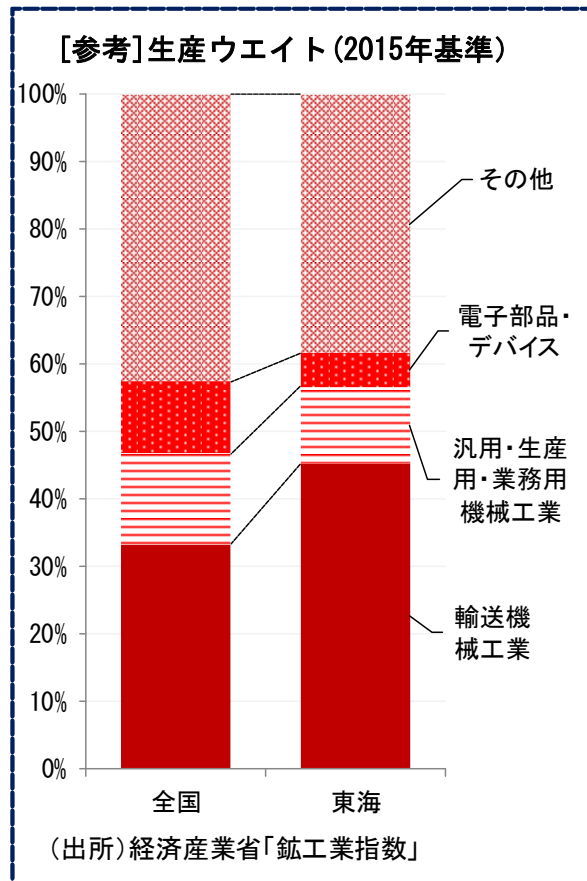
- 業種別では、輸送機械や電子部品・デバイスが増加に寄与した。

鉱工業生産（前月比増減の業種別寄与）

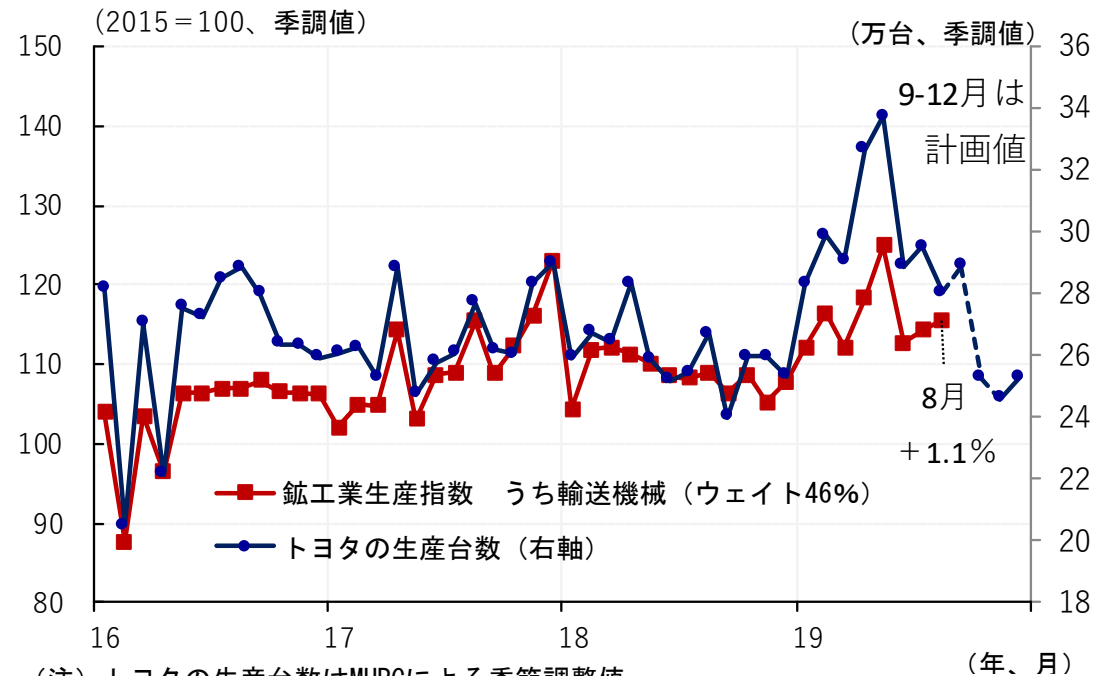


## 2. 生産～業種別(輸送機械)

- 8月の輸送機械の生産は前月比+1.1%の増加。
- トヨタ自動車国内生産計画(中部経済新聞社報道)の季節調整値(当社試算)をみると、先行きは月産25万台程度まで低下が見込まれている。



輸送用機械の生産指数とトヨタの生産台数

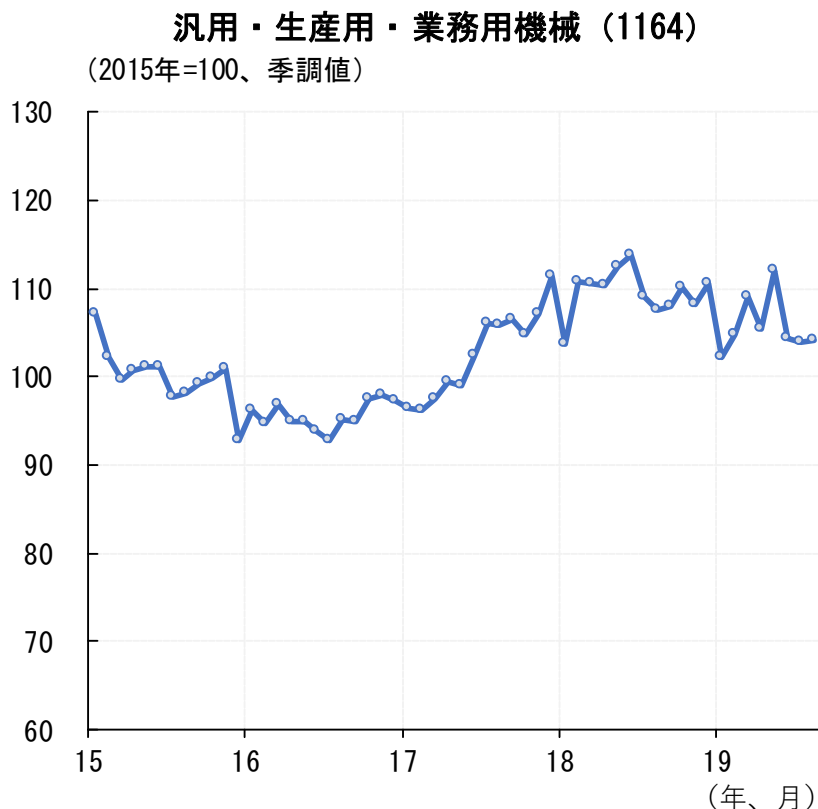


(注) トヨタの生産台数はMURCIによる季節調整値。

(出所) 中部経済産業局「鉱工業生産動向」、中部経済新聞、トヨタHP

## 2. 生産～業種別(機械、電子部品)

- 8月の汎用・生産用・業務用機械は、前月比+0.2%と小幅上昇。
- 電子部品デバイスは同+7.7%。低水準での推移が続いているが、下げ止まりがうかがえる。



(注) 括弧内の数字は付加価値ウエイト(鉱工業=10,000)  
(出所) 中部経済産業局「鉱工業生産動向」

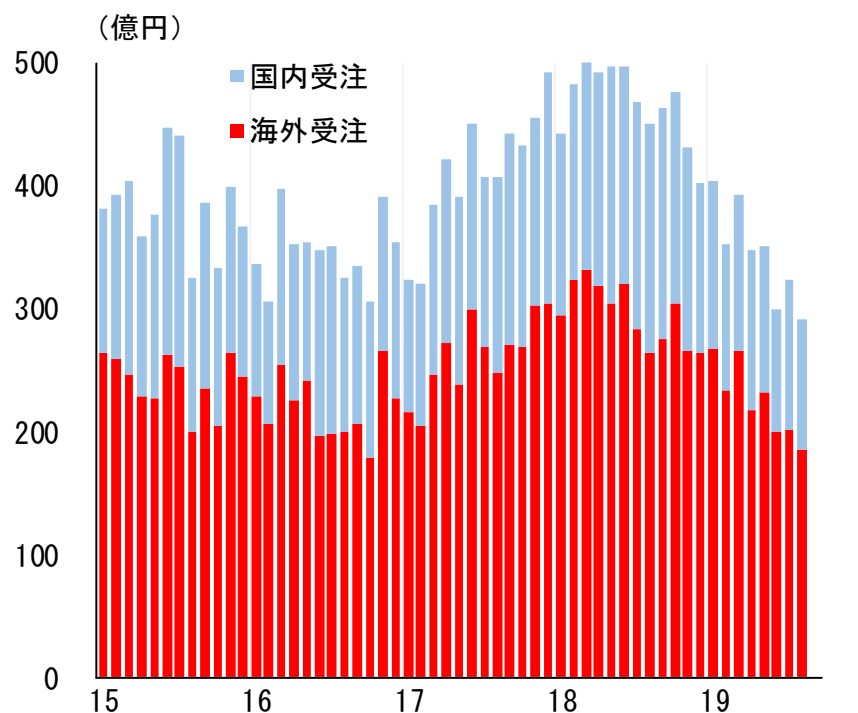


(注) 括弧内の数字は付加価値ウエイト(鉱工業=10,000)  
(出所) 中部経済産業局「鉱工業生産動向」

## 2. 生産～金属工作機械受注

- 8月の**金属工作機械受注**は前年比－35.3%と10ヶ月連続で減少した。海外受注(同－29.9%)、国内受注(同－42.9%)といずれも大幅減が続いている。
- 国内受注は一般機械向け、自動車向け、電気機械向けなどが大幅減。海外受注は米国向け、欧州向け、中国向けなどの減少が続いた。

金属工作機械受注 受注高



(注) 東海は、中部経済産業局管内の主要8社 (年、月)  
(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」

同 前年比増減

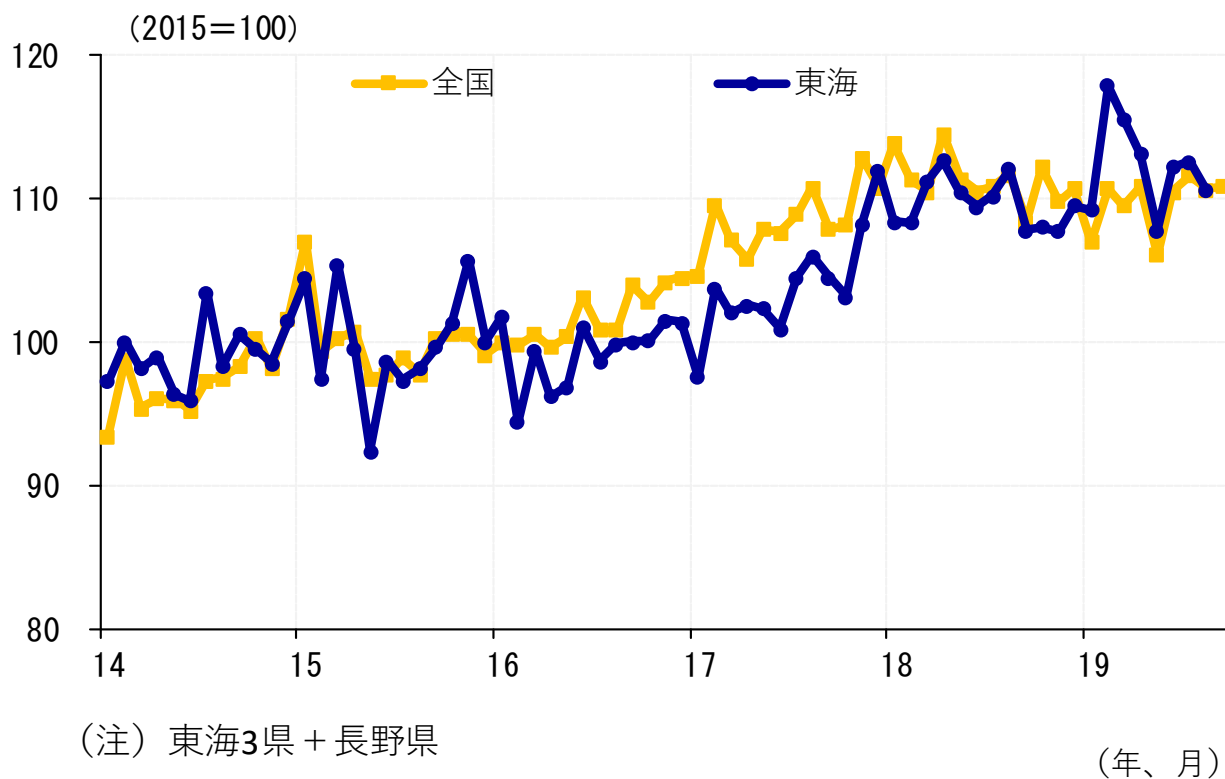


(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」 (年、月)

### 3. 輸出～横ばい圏で推移している（先行き:横ばい）

- 8月の実質輸出(季調済)は前月比-1.8%と、3ヶ月ぶりに減少した。東海の輸出は均して見ると横ばい圏で推移している。

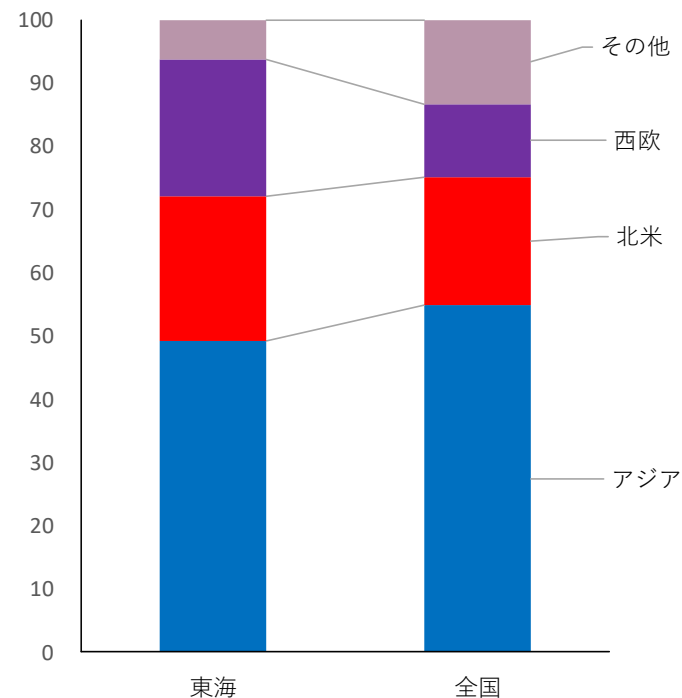
実質輸出



(注) 東海3県 + 長野県

(出所) 日本銀行名古屋支店「実質輸出入」

輸出額地域別シェア(2018年)



【特色】東海は全国と比べ欧米のシェアが大きい。

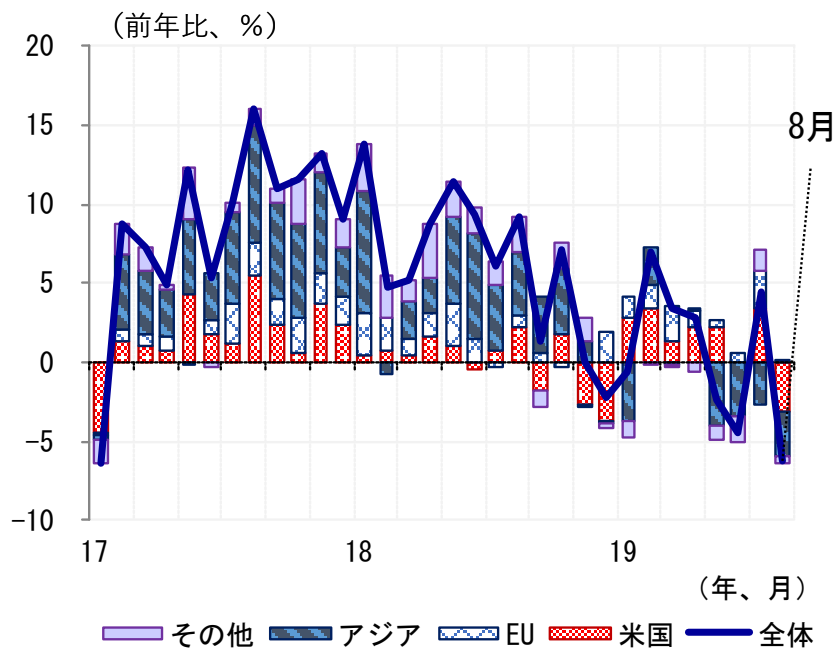
(出所) 財務省「貿易統計」

### 3. 輸出

コメント、グラフ共に前回から変更なし

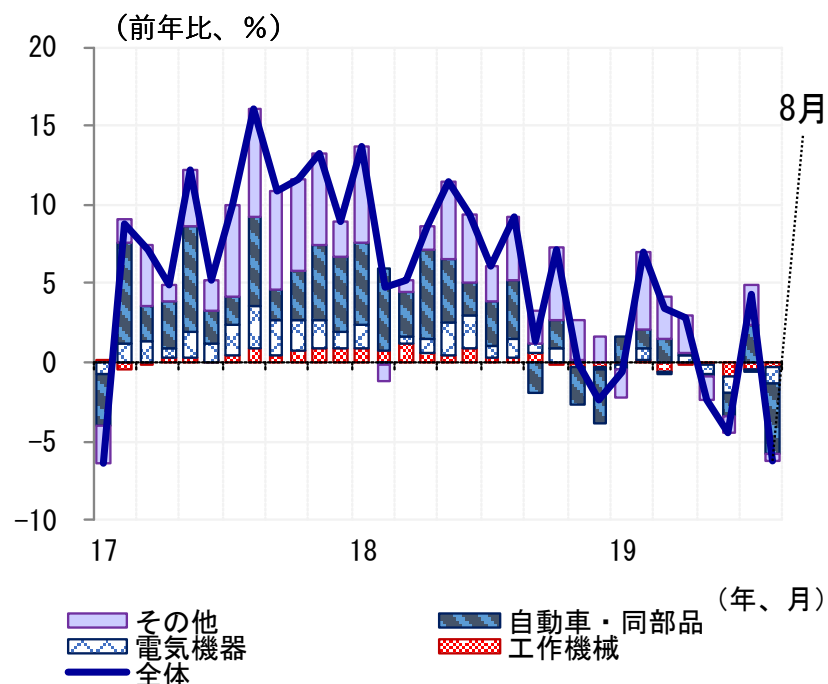
- 8月の名古屋税関管内の**名目輸出額**は前年比-6.3%と減少に転じた。米国向け(同-11.8%)、アジア向け(同-7.1%)が減少した。
- 品目別では自動車(同-8.3%)、同部品(同-15.3%)、電気機器(同-7.1%)など主要品目が軒並み減少した。

名目輸出(地域別寄与度)



(出所) 財務省「貿易統計」

名目輸出(品目別寄与度)

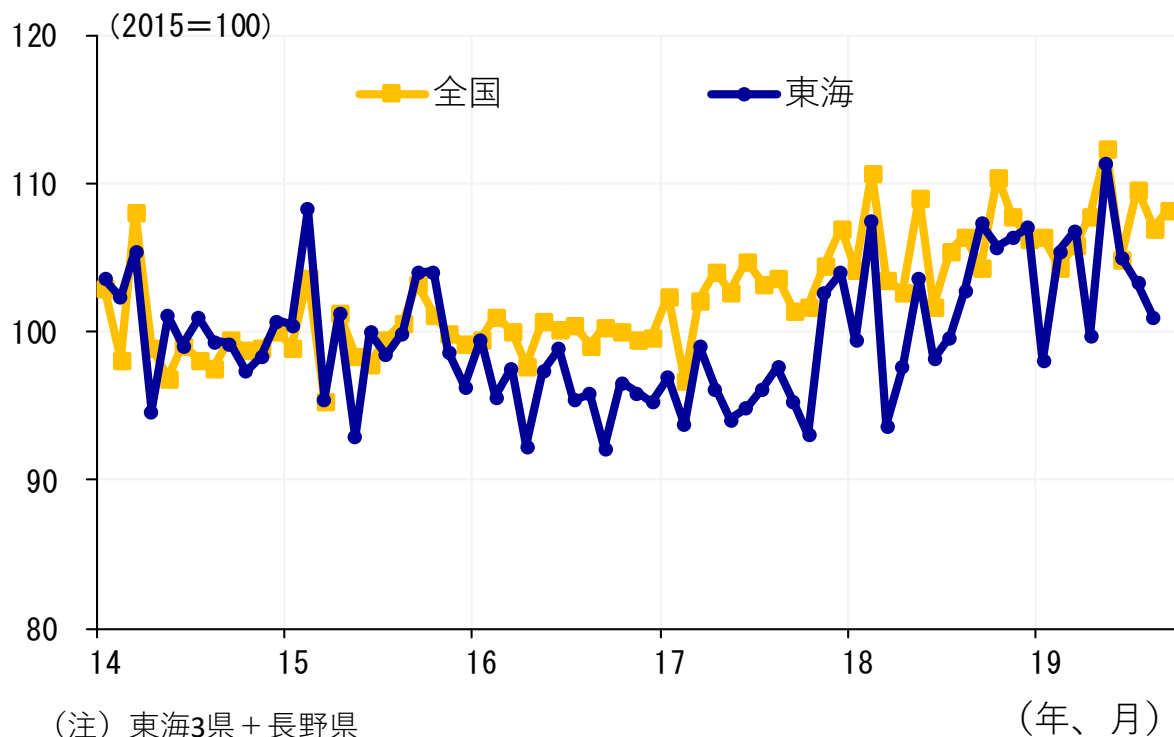


(出所) 財務省「貿易統計」

#### 4. 輸入～横ばい圏で推移している（先行き:横ばい）

- 8月の実質輸入(季調済)は、前月比-2.3%と3ヶ月連続で減少した。東海地方の輸入は均して見ると横ばい圏で推移している。

実質輸入



(注) 東海3県 + 長野県

(年、月)

(出所) 日本銀行名古屋支店「実質輸出入」

## 5. 設備投資～増加基調(先行き:増加基調)

コメント、グラフ共に前回から変更なし

- 東海の設備投資は、計画では増加を見込むが、大企業の実績は減速感がみられる。
- 法人企業統計によると、2019年4-6月期の東海4県大企業の設備投資(ソフトウェアを含む)は、前年比-17.4%と6四半期ぶりに減少した。非製造業は同+3.9%と引き続き増加したが、製造業が同-30.3%の大幅減となった。

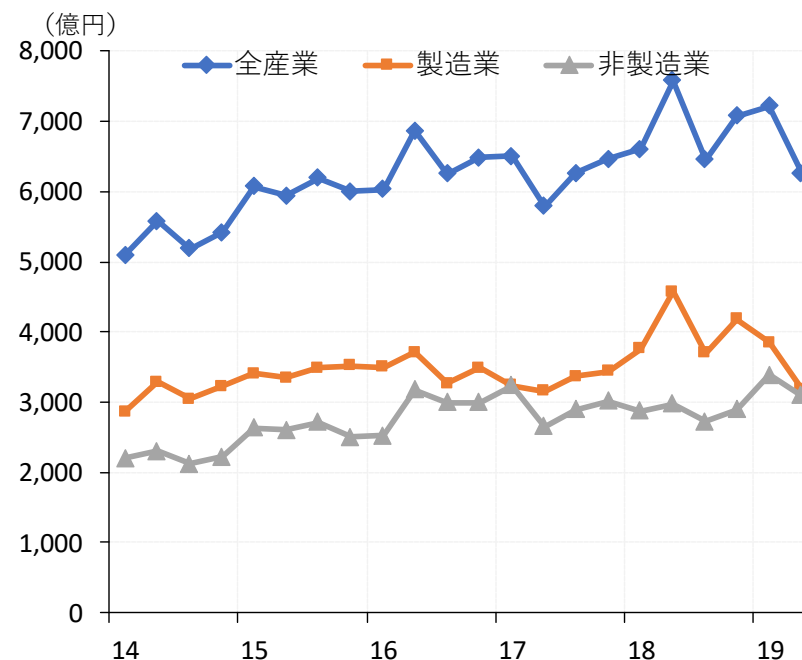
設備投資の前年比伸び率 (全産業、%)

	東海	全国
17年10-12月	-0.6	4.3
18年1-3月	2.3	3.4
4-6月	31.0	12.8
7-9月	2.3	4.5
10-12月	9.5	5.7
19年1-3月	9.6	6.1
19年4-6月	-17.4	1.9

(注) 東海は資本金10億円以上の企業が対象

(出所) 財務省「法人企業統計調査」

設備投資(ソフトウェアを含む、季節調整値)



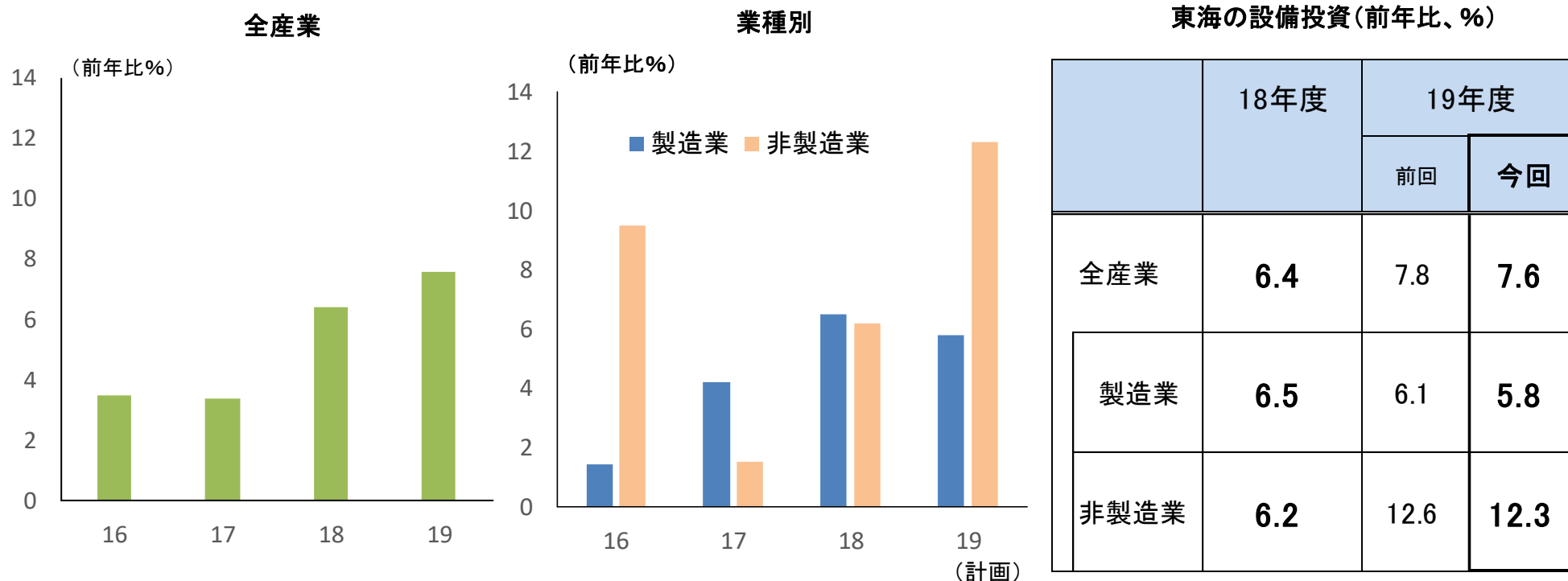
(注) ソフトウェアを含む、季調はMURC (年、四半期)

(出所) 財務省「法人企業統計調査」



## 5. 設備投資～日銀短観

- 日銀短観9月調査では、東海3県の19年度の設備投資は全産業で前年比+7.6%と6月調査から小幅下方修正となった。うち、製造業は+5.8%、非製造業は+12.3%。非製造業で引き続き高めの計画となっている。



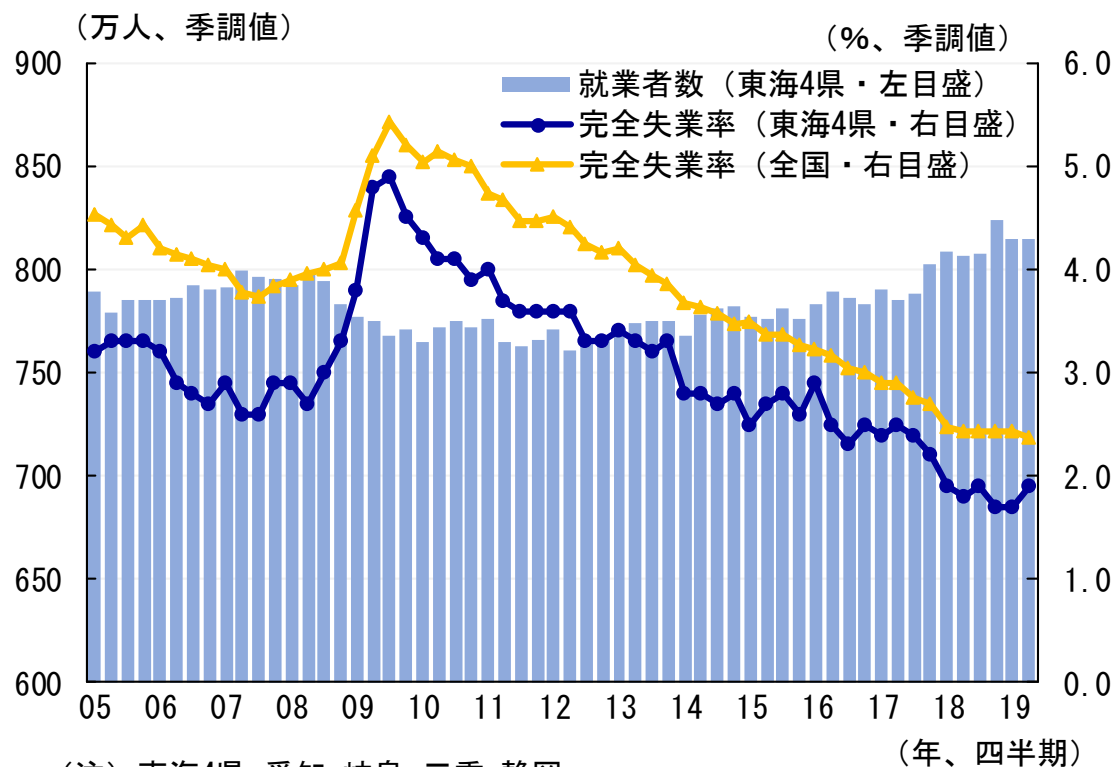
(注)設備投資はソフトウェアと研究開発費を含む。土地投資額を除く。  
 (出所)日本銀行名古屋支店「短観」

## 6. 雇用 ～改善が一服している（先行き:横ばい）

コメント、グラフ共に前回から変更なし

- 労働需給はタイトな状況が続いている。2019年4～6月期の東海4県の**完全失業率**は1.9%と前年同期から0.2%ポイント上昇したが、全国(2.4%)を下回り、地域別でみて最低水準だった。
- **就業者数**は前期比横ばいの815万人。

失業率と就業者数(季節調整値)

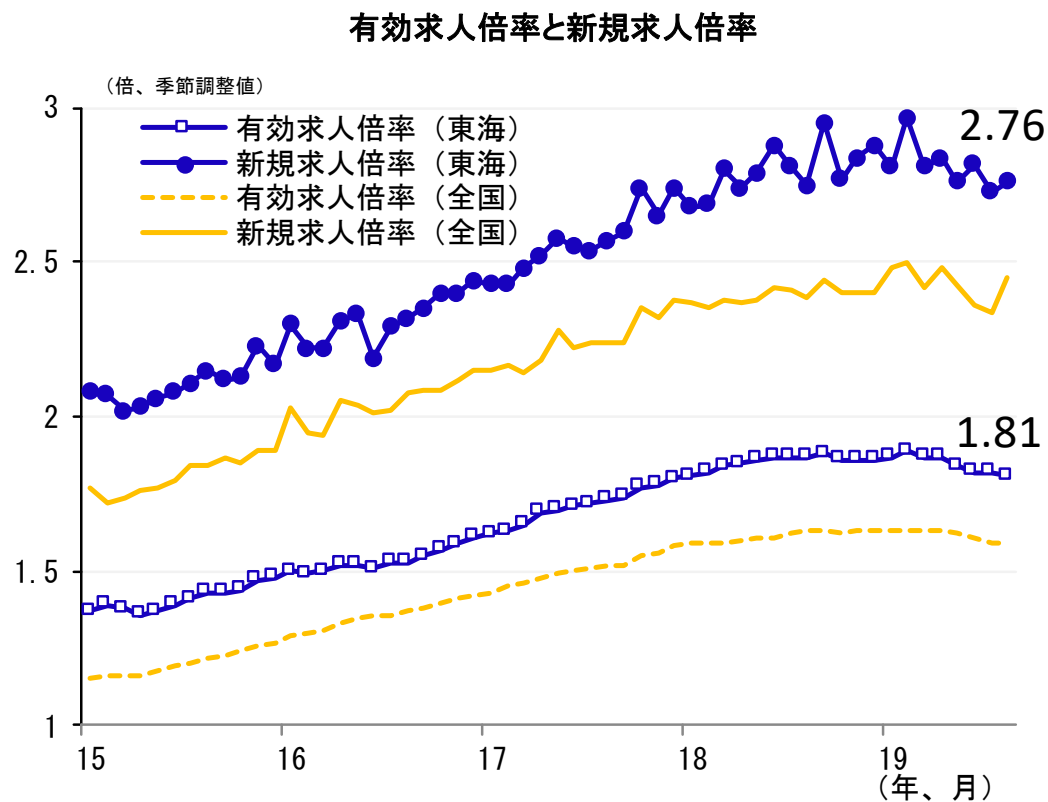


(注) 東海4県=愛知、岐阜、三重、静岡。

(出所) 総務省「労働力調査」

## 6. 雇用

- 8月の東海4県の有効求人倍率(季節調整値)は1.81倍。このところ高水準横ばいで推移している。
- 有効求人倍率に先行する新規求人倍率は2.76倍と高水準。

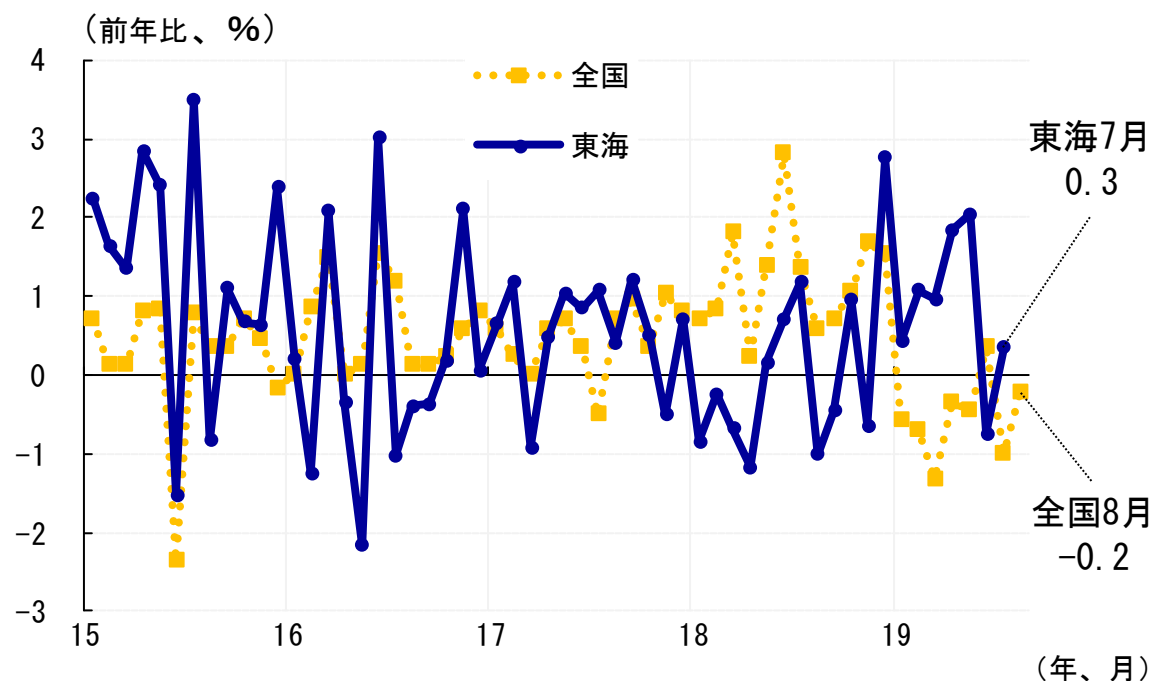


(注) 東海は岐阜、静岡、愛知、三重の4県  
(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

## 7. 賃金～持ち直しの動きがみられる（先行き:持ち直し）

- 東海3県の7月の**名目賃金指数(現金給与総額)**は前年比+0.3%と、2ヶ月ぶりに上昇、均してみると持ち直しの動きが続いている。県別にみると、岐阜県が7ヶ月ぶりに前年比マイナスとなったが、常用労働者数の約7割を占める愛知が前年比+0.9%と2ヶ月ぶりに上昇した。

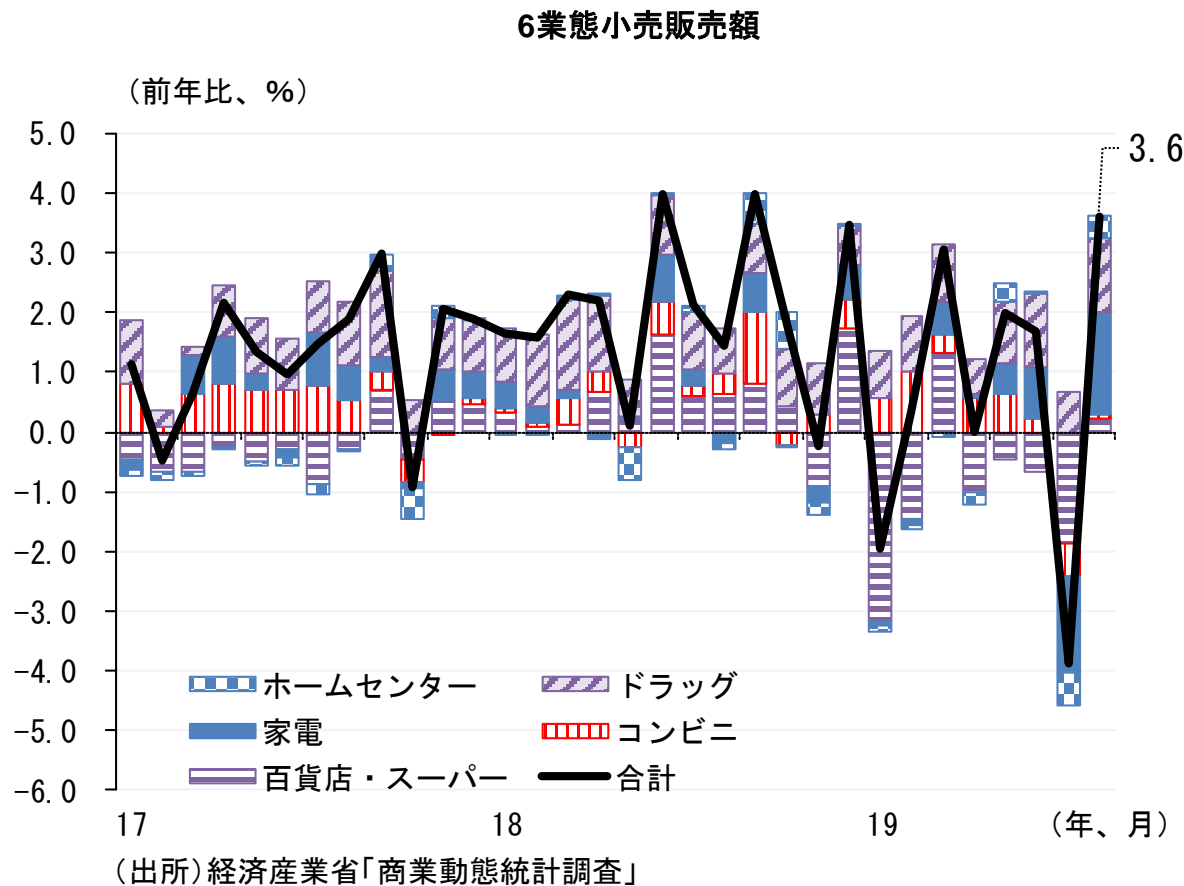
名目賃金指数(現金給与総額)



(注) 東海3県（愛知、岐阜、三重）の指数はMURC試算。常用労働者数で按分し合成。  
(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」

## 8. 個人消費～持ち直しの動きがみられる（先行き:緩やかに持ち直し）

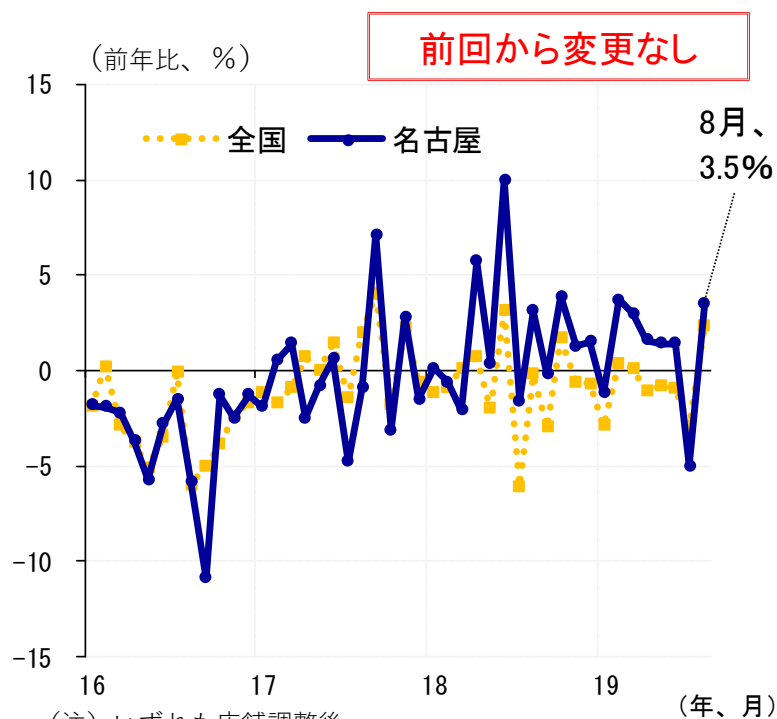
- 8月の商業動態統計調査6業態の販売額(東海3県)は、前年比+3.6%と増加した。
- 東海の販売は、7月に長雨の影響でもたつきがみられたが、総じて前年比プラスで推移している。



## 8. 個人消費

- 8月の名古屋市内の百貨店販売額(店舗調整後)は前年比+3.5%と増加した。
- 8月の中部5県のスーパー売上高(全店)は同+0.7%と増加した。

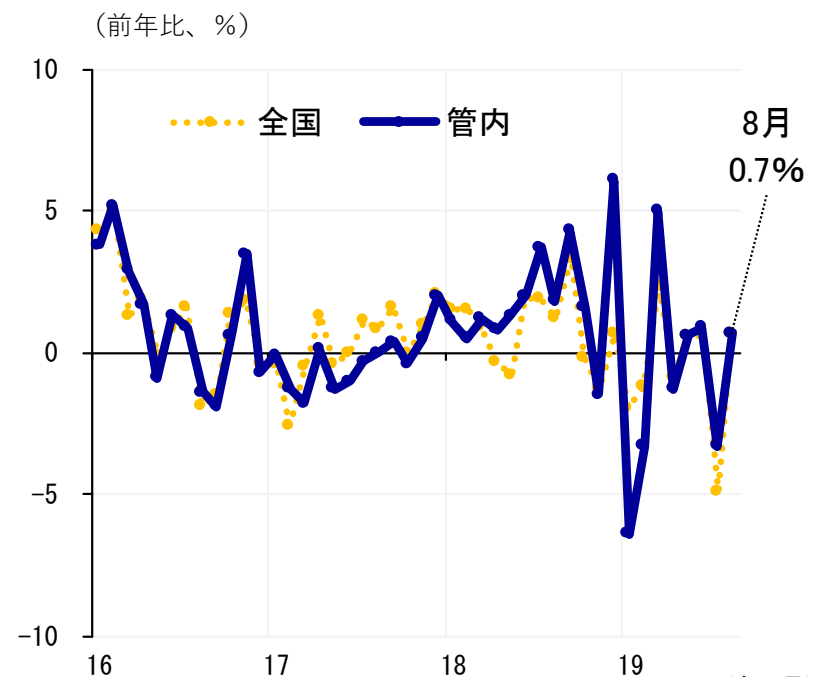
百貨店販売額(店舗調整後)



(注) いずれも店舗調整後

(出所) 日本百貨店協会

スーパー販売額(全店)



(注) 管内は富山、石川、岐阜、愛知及び三重の5県

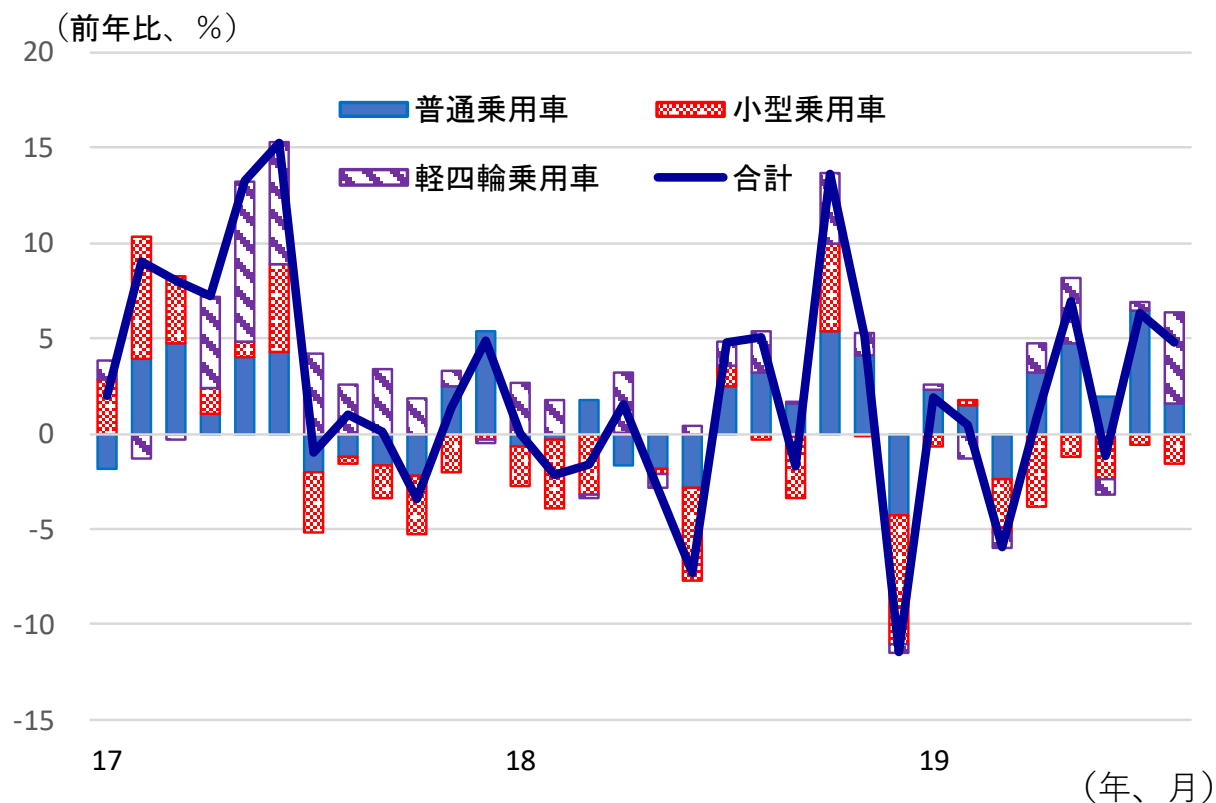
(出所) 中部経済産業局, 経済産業省

## 8. 個人消費

コメント、グラフ共に前回から変更なし

- 8月の東海3県の新車登録台数(乗用車、含む軽)は、前年比+4.8%と2ヶ月連続で増加した。
- 軽四輪乗用車(同+15.8%)が伸びを高めたほか、このところ好調な普通乗用車(同+4.1%)が引き続き増加した。

新車登録台数

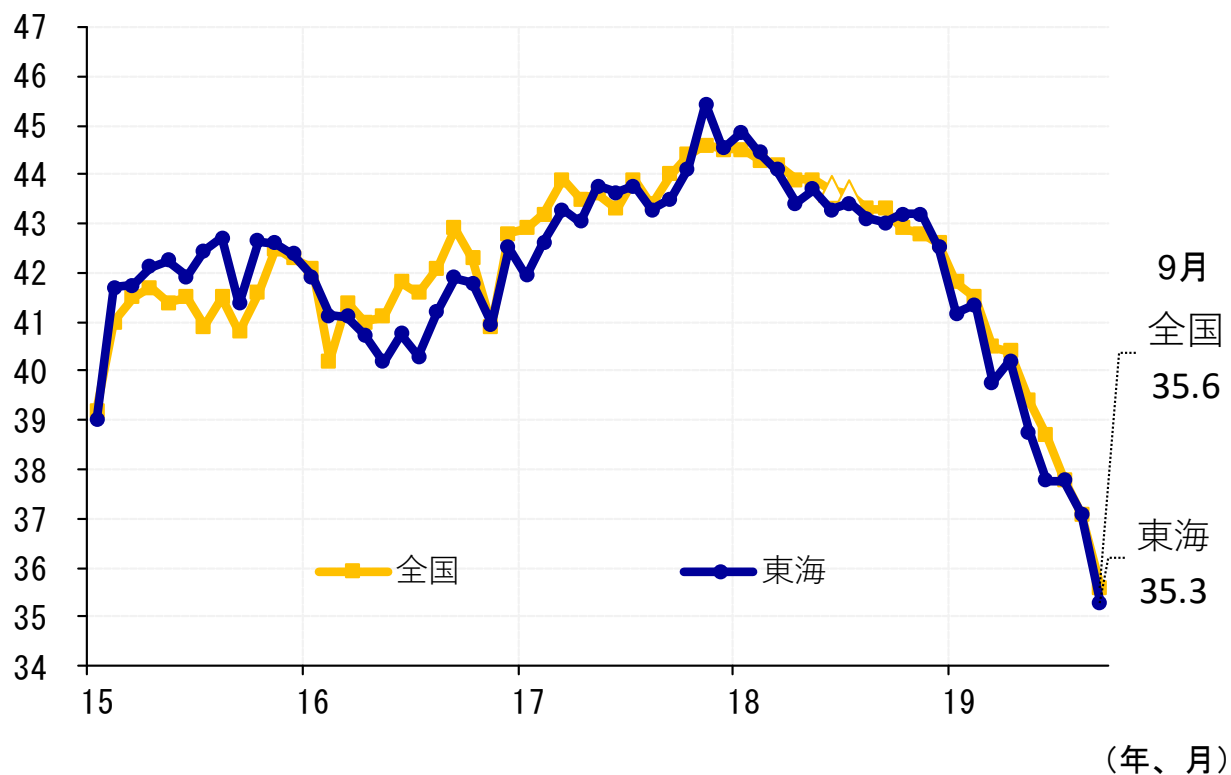


(出所) 全国軽自動車協会連合会、日本自動車販売協会連合会よりMURC作成

## 8. 個人消費

- 消費者マインドを表す**消費者態度指数**(季節調整値:MURC試算値)は、18年後半に横ばいで推移した後、19年に入り低下傾向が続いている。

消費者態度指数(二人以上の世帯、季節調整値)



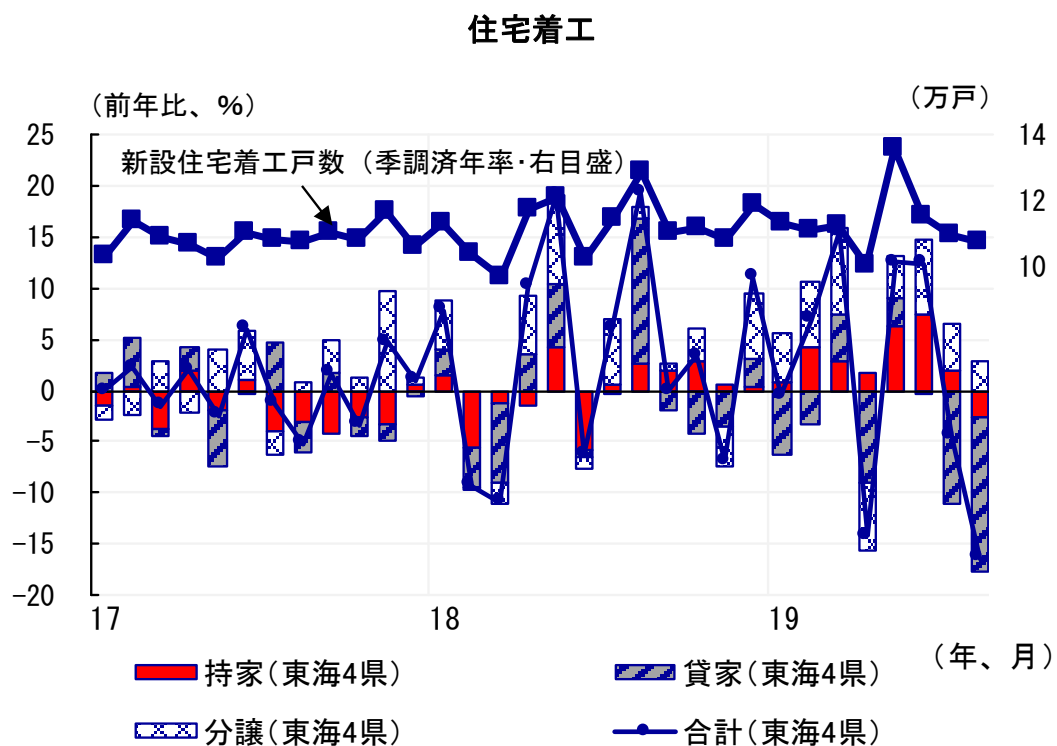
(注) 東海の季節調整値はMURC試算

(出所) 内閣府「消費動向調査」



## 9. 住宅投資～ 横ばい圏で推移している（先行き:横ばい）

- 8月の東海4県の**住宅着工戸数**は、季調済年率で(MURC試算)10.8万戸。均して見ると横ばい圏で推移している。
- 原数値では前年比-16.4%、貸家の減少が続いたほか、持ち家も減少に転じた。



(注) 東海4県=愛知、岐阜、三重、静岡。季節調整は当社による。

(出所) 国土交通省「建築着工統計」

## 10. 公共投資 ～増加している（先行き：横ばい）

- 東海3県の9月の公共工事請負額は年度累計で前年比+8.8%と増加。愛知、岐阜の市区町村の伸びが目立った。
- 単月では同+0.6%と前年を小幅上回った。

東海の公共工事請負額(年度累計額の前年比)



(注) 東海＝愛知、岐阜、三重の3県。

(出所) 保証事業者協会、北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください